



ゲンロンスクール

2019

主任講師

黒瀬陽平

ゲスト講師

飴屋法水 / 宇川直宏  
キュンチョメ / 樫木野衣  
さやわか / 新藤淳  
西澤徹夫  
松下徹 (SIDE CORE)  
八谷和彦 / 堀浩哉 ほか

# ゲンロン カオス\*ラウンジ 新芸術校 第5期

野生のアーティストと、未来の現代美術。

2019年度講座  
4月開講

# 受講生募集中!

最終講評会審査員

岩淵貞哉 / 田中功起  
和多利浩一 / 黒瀬陽平

実施期間：2019年4月～2020年3月

会場：ゲンロンカフェ / 五反田アトリエ  
定員：30名

募集締切：2019年3月11日(月)

※先着順での受付となります。定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

受講料：290,000円[税抜]

※ゲンロン友の会第9期会員および、応募時点でゲンロンスクール(新芸術校/批評再生塾/SF創作講座/ひらめき☆マンガ教室)を受講中の方には割引が適用されます。割引金額は5,000円です。割引の併用はできません。

お申し込み ※専用サイトでの受付となります。

<http://school.genron.co.jp/gcls>

ゲンロンスクールとは……株式会社ゲンロンが運営する連続講座事業。2015年開講の「カオス\*ラウンジ 新芸術校」、「佐々木敦 批評再生塾」、2016年開講の「大森望SF 創作講座」、2017年開講の「ひらめき☆マンガ教室」といった通年の講座のほか、「こども教室」(隔月)、「利賀セミナー」(不定期)、「H.I.S. チェルノブイリツアー」(年1回)などの単発のイベントがあります。おもな会場は東京・五反田のゲンロンカフェおよび五反田アトリエ。既存の教育機関とは異なる実践的で柔軟な指導体制を特徴とし、すでに商業的に活躍する作家やアーティストを輩出しています。

# 野生のアーティストと、未来の現代美術。

主任講師 黒瀬陽平

新芸術校も今年で五年目をむかえる。

新芸術校は普通のアートスクールではない。講義のレベルは藝大、美大に引けをとらないと自負しているし、アーティストをデビューさせ、育成するために、専門学校やカルチャーセンターよりも実践的なカリキュラムを組んでいる。実際に、すでに何人かのアーティストは新芸術校からデビューし、活動の場を広げている。今とて、このような在野のアートスクールは他に類を見ない。

在野のアートスクールでありながら、藝大、美大と競合し、既存のアートシーンに影響力を持つこと。それこそが、新芸術校の存在意義だ。とくに近年は、ますますそう感じるようになった。

この国のアーティストはみな、社会における自身の価値に不安を持ち、怯えている。アーティストなんて何の根拠もなく、現代社会のなかで役に立つわけではなく、本当は知っているからだ。

アートはいったい何のためにあるのか、自分の存在価値はなんなのか……もちろん、そのような疑問や不安こそがアートを鍛え、その闘いの中からこそ、時代を画する表現が生まれてくる。しかし多くのアーティストは、その不安から逃れるために既

存の制度や権威に承認されようとするか、コマチャリズムやポピュリズムに迎合するのである。

新芸術校は、そのような、アートの存在論的不安を抱えた「野生のアーティスト」たちが集う場である。実際に、これまでの受講生の多くが、正規の美術教育を受けたことがないか、そこに疑問や不満を持ってやってきた人たちだ。

しかし、「野生のアーティスト」をそのままデビューさせるだけなら、芸能人を客寄せに利用する展覧会や、アウトサイダー・アートビジネスと変わらない。そうではなく、新芸術校は、「野生のアーティスト」としての彼らの誇りと不安、その激しい葛藤を滋養としてアートを育てていく「庭」であろうとしているのだ。

野生のアーティストたちは、新芸術校という庭に、自らの野生の種を蒔く。彼らはそこで、アウトサイダーであることから離脱し、野生の種を育てる「庭師」となるだろう。

新芸術校は、庭としては生まれればかりだが、そこにはすでに生態系が生まれ、ひとつの世界を持ち始めている。この庭を美しいと感じる人がいる限り、新芸術校は続いていくはずだ。

例年のように、定員はあるが、入学のための試験や足切りはない。今年も、志を持った人材が集まってくれることを期待している。

## ゲンロン カオス\*ラウンジ新芸術校 スケジュール

※スケジュールは変更になる場合がございます。ご了承ください。

2019

日程	テーマ	授業内容	講師
04/07(日)	展示指導 1	導入 イントロダクション 受講生による自己紹介プレゼン 制作指導	黒瀬陽平
04/21(日)	ツアー 1	アートの現場を見る 1	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
04/28(日)	展示指導 2	セルフプロデュース レクチャー 制作指導 制作指導・講評	黒瀬陽平
05/12(日)	展示指導 3	展示を企画する 1 レクチャー 制作指導	黒瀬陽平
05/	展示指導 4	作品を作る 1 レクチャー 制作指導・講評	堀浩哉・黒瀬陽平
05/26(日)	ツアー 2	アートの現場を見る 2	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
06/02(日)	展示指導 5	作品を作る 2 レクチャー 制作指導・講評	黒瀬陽平
06/16(日)	展示指導 6	展示を企画する 2 レクチャー 制作指導・講評	新藤淳・黒瀬陽平
06/23(日)	ツアー 3	アートの現場を見る 3	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
07/07(日)	展示指導 7	展示を企画する 3 制作指導・講評 制作指導	黒瀬陽平
07/14(日)	展示指導 8	展示を企画する 4 レクチャー 制作指導 制作指導・講評	西澤徹夫・黒瀬陽平
07/28(日)	ツアー 4	アートの現場を見る 4	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
08/	個別指導 1	面談 1	黒瀬陽平
08/11(日)	合同授業	新芸術校×ひらめき☆マンガ教室 レクチャー 講評・制作指導	さやわか・黒瀬陽平
09/01(日)	ツアー 5	アートの現場を見る 5	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
09/13(金)	設営 1	グループ展 A (4名)	
09/14(土)-22(日)	展覧会 1		
09/21(土)	講評会 1	レクチャー 講評会	榎木野衣・黒瀬陽平

日程	テーマ	授業内容	講師
09/	展示指導 9	展示を批評する 1 レクチャー 制作指導・講評	調整中・黒瀬陽平
10/06(日)	ツアー 6	アートの現場を見る 6	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
10/11(金)	設営 2		
10/12(土)-20(日)	展覧会 2	グループ展 B (6名)	
10/19(土)	講評会 2	レクチャー 講評会	飴屋法水・黒瀬陽平
10/27(日)	展示指導 10	展示を批評する 2 レクチャー 制作指導・講評	キュンチョメ・黒瀬陽平
11/03(日)	ツアー 7	アートの現場を見る 7	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
11/08(金)	設営 3		
11/09(土)-17(日)	展覧会 3	グループ展 C (8名)	
11/16(土)	講評会 3	レクチャー 講評会	八谷和彦・黒瀬陽平
11/24(日)	展示指導 11	展示を批評する 3 レクチャー 制作指導・講評	松下徹 (SIDE CORE)・黒瀬陽平
12/06(金)	設営 4		
12/07(土)-15(日)	展覧会 4	グループ展 D (12名)	
12/01(日)	ツアー 8	アートの現場を見る 8	黒瀬陽平・カオス*ラウンジ
12/14(土)	講評会 4	レクチャー 講評会	宇川直宏・黒瀬陽平

2020

01/12(日)	展示指導 12	展示を批評する 4 レクチャー 制作指導・講評 (選抜展敗者復活プレゼン)	黒瀬陽平
01/	個別指導 2	個人面談	黒瀬陽平
01/26(日)	ツアー 9	アートの現場を見る 9	黒瀬陽平
02/02(日)	展示指導 13	作品を作る 3 レクチャー 制作指導・講評	黒瀬陽平
02/	個別指導 3	個人面談	黒瀬陽平
02/28(金)	設営 5		
02/29(土)-03/08(日)	最終選抜展	選抜者 5名による展覧会	
02/29(土)-03/01(日)	落選展	非選抜者による展覧会	
02/29(土)	最終講評会	審査会 最終講評会	岩淵貞哉・田中功起 和多利浩一・黒瀬陽平

### 会場アクセス

ゲンロンカフェ 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-11-9 司ビル 6F  
五反田アトリエ 〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-17-4 槽谷ビル 2F

【お問い合わせ】

株式会社ゲンロン

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F  
Mail: info@genron.co.jp Tel: 03-6417-9230